

郷土資料館 サマースクールの様子  
昔むかしのべつかい 勾玉づくり

と き 平成 28 年 8 月 1 日・2 日  
午後 1 時 30 分～3 時 30 分  
と ころ 別海町郷土資料館 研修室  
講 師 石渡一人（別海町郷土資料館主幹）  
参加者数 19 名（子ども 16 名・大人 3 名）

はじめに、別海町の大昔のお話しをしました。縄文時代の遺跡、土器、石器、人骨など遠い昔から生活の営みがあったことがわかったかと思います。そうした中で、縄文人が装飾品として身に付けていた「勾玉」作りに挑戦しました。石は滑石を使いサンドペーパーで真剣に削りました。2 時間ほどで思い思いの勾玉が完成しました。参加してくれた小学生は夏休みの工作として出品するそうです。

○参加者の感想（原文そのまま）

- ・自分の思ったとおりの形にはならなかったけど楽しかった。また、作ってみたいです。
- ・形を作るのが好みでできるのがとても楽しかった。根気のいる作業でしたが、あつという間のひとときで、楽しかったです。どうもありがとうございました。
- ・まが玉をいえでもつくれるようにしたい。もうちょっとかっこよくしたい。またやりたい。
- ・むずかしかったけど、おもしろかった。
- ・くぼみのところが、うまくできたので、たのしかった。ジーンズでまたみがきたい。
- ・ジーンズでみがくとすごい光った。
- ・すごく楽しかった。
- ・いがいと、うでがつかれた。
- ・いがいと、はやくおわって、先生の教え方がいいんだとおもいました。最初はまっ白で、みがいているうちに、少しもようが出てきておもしろかったです。来年は中 1 だけど、時間があれば勾玉づくりに行きたいと思いました。
- ・たしか、10 年間ほど続いているということなので、続けてくださっている事にかんしゃできるように大切にしていきたいと思いました。こうゆうきかいありがとうございました。また、たのしみに行っている方がたのために続けてください。おうえんしています。
- ・来年も勾玉作りをやりたいと思いました。でも、ゆびがつかれすぎました。色付でもいいし、石に勾玉の絵を書きたい。

